

RFMD ニュース



rfmd.com

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com

RFMD 社、GaAs pHEMT RF スイッチを発表

**RFMD 社、業界最先端の製造能力を活用した RF1200、RF1450 の
新タイプ RF スイッチでアナログ部品の対象市場を拡大**

カリフォルニア州ロングビーチ、2007年1月16日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、カリフォルニア州ロングビーチで1月9~11日に開催される無線技術の国際会議「IEEE Radio and Wireless Conference」に同社の最新RFスイッチRF1200およびRF1450を出展すると発表した。同社のブース番号は513。

RF1200とRF1450はRFMD社が持つ業界最先端のGaAs製造能力と送信モジュール用に開発されたスイッチ技術を活用したもの。新しい高性能スイッチはマルチモードGSM / WCDMA端末やアンテナチューナ、IEEE802.11a/b/g無線LAN、携帯電話基地局など様々な市場分野で各種のフロントエンド用に利用される。

「RFスイッチの市場に参入することで対象となる市場が拡大し、同時に成長を続けている携帯電話用送信モジュールのラインアップを補完できます。」とRFMD社の社長兼CEOのBob Bruggeworthは語る。「当社が初めて発売する2種類のRFスイッチRF1200とRF1450は各種多機能携帯端末の複雑なフロントエンド用途に対応してRFシステム全体の性能を向上させるとともに新たな構成の実現を可能にします。携帯電話用RFソリューションのリーダーとしての地位を生かし、新製品の投入によるRFスイッチ市場での売上げ拡大に期待しています。」

RF1200は単極双投(SPDT)の高電力スイッチで、WCDMAの直線性要件をすべて満足し、低い制御電圧と低挿入損失、良好な高調波特性が特長。0.5ミクロンGaAs pHEMTプロセスで製造され、超小型の2x2mm、6ピンリードレスQFNパッケージで提供される。

RF1450は単極4投(SP4T)の高出力スイッチで、マルチモードWCDMA用として特に高い直線性を持つよう設計されている。RF1450にはデコーダ回路が内蔵されているため、2本の制御線のみでスイッチが制御できる。サイズは3x3x0.6 mmと小さく、16ピンのリードレスQFNパッケージで提供される。

RF1200の主な特長:

- 低挿入損失(1GHzで0.35dB)
- 高アイソレーション(1GHzで25dB)
- 低制御電圧(2.6V~5.0V)
- 第2高調波:1GHzで-80dBc
- GaAs pHEMTプロセス

RF1450の主な特長:

- 低挿入損失(0.60dB以下)
- 高アイソレーション(2.2GHzで15dB)
- 低制御電圧(2.6V~5.0V)
- 高調波:1GHzで-75dBc
- GaAs pHEMTプロセス

RFMDのRF1200とRF1450は初回顧客向けに現在生産中で、RF1200は\$0.59/1万個、RF1450は\$1.19/1万個の価格で提供される。

RFMD 社について: RF Micro Devices, Inc. RFMD 社(NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモバイルの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###